

令和6年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価報告書

釜石市教育委員会

目 次

I	はじめに -----	1
	(参考)第六次釜石市総合計画※抜粋 -----	2
II	教育委員会の活動 -----	3
1	教育委員会議	
2	総合教育会議	
3	会議以外の主な活動	
III	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価の結果 -----	4
1	点検・評価の基準	
2	点検・評価の体系	
3	点検・評価の結果	
	基本施策 1 未来を担う子どもたちの育成	
	実施施策 (1)生きる力を育む学校教育の充実 -----	5
	基本施策 2 子どもを育む環境づくり	
	実施施策 (1)地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進 -----	16
	(2)教育環境の充実とさらなる向上 -----	23
	基本施策 3 生涯学習・スポーツの振興	
	実施施策 (1)学びと実践が循環しつながり創出する生涯学習社会の形成 -	39
	(2)豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進 -----	47
	基本施策 4 歴史・文化・芸術文化の振興	
	実施施策 (1)歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進 -----	48
	(2)橋野鉄鉾山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信 -----	56
	「令和6年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価調書」学識経験者 からの意見聴取会意見(要点) -----	62

I はじめに

- この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に基づき、令和 6 年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検並びに評価結果を取りまとめたものです。
点検及び評価に当たっては、令和 3 年 3 月策定の「第六次釜石市総合計画」の基本目標 4「地域と人のつながりの中でみんなが育つまち」の施策の体系に基づいて整理しました。
- 事業は、教育委員会の事務及び市長部局が補助執行している教育委員会の事業（釜石市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則（平成 29 年釜石市教育委員会規則第 2 号）第 2 条）を範囲とし、「第六次釜石市総合計画」の実施計画に掲載された事業、令和 6 年度における主要事業等を対象としました。
- 評価は、担当課において対象事業の自己評価を行い、その評価の内容、妥当性等について学識経験者の知見の活用を図り二次評価しました。

釜石市教育委員会委員名簿

委員	佐野茂樹
委員	中田義仁
委員	佐々木ひづる
委員	花輪妙子
教育長	高橋勝

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(参考)「第六次釜石市総合計画」※抜粋

【目指す釜石の将来像】
一人ひとりが学びあい
世界とつながり未来を創るまちかまいし
～多様性を認めあいながらトライし続ける不屈のまち～

◎ 5つの基本目標 (点検・評価の対象：基本目標4)

基本目標1：〔保健福祉〕あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち

基本目標2：〔生活環境〕人と自然が共存し安心して暮らせるまち

基本目標3：〔産業雇用〕未来をつくる人と産業が育つまち

基本目標4：〔教育文化〕地域と人のつながりの中でみんなが育つまち

※抜粋

— 《未来を担う子どもたちの育成》

(実施施策) ○生きる力を育む学校教育の充実

— 《子どもを育む環境づくり》

(実施施策) ○地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

○教育環境の充実とさらなる向上

— 《生涯学習・スポーツの振興》

(実施施策) ○学びと実践が循環しつながり創出する生涯学習社会の形成

○豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進

— 《歴史・文化・芸術文化の振興》

(実施施策) ○歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

○橋野鉄鉦山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

基本目標5：〔危機対応〕過去に学びみんなが命を守れるまち

II 教育委員会の活動

教育委員会では、教育行政の執行にあたり、5人の委員で構成される合議制の教育委員会議定例会を毎月開催するとともに、必要に応じて教育委員会議臨時会を開催し、基本方針の決定や各種議案を審議し、教育行政の適正な運営に努めました。

また、市長と教育委員会が教育の課題や方向性を共有して、連携を深めながら教育施策の協議、調整を行う場として、新しい教育委員会制度に対応した総合教育会議を年1回開催しています。

会議以外の活動としては、教育長及び教育委員による学校訪問を行うとともに、学校の各種行事に参加することで、学校現場や教育環境等の状況把握に努めています。

1 教育委員会議（開催数）

定例会	12回
臨時会	2回
合計	14回

2 総合教育会議

第1回（令和6年8月7日）

【協議内容】

- ・不登校問題の改善に向けた方策について

3 会議以外の主な活動

(1) 学校訪問

釜石市立平田小学校（令和6年7月5日）

釜石市立大平中学校（令和6年7月9日）

(2) 学校公開研究会

釜石市立唐丹中学校（令和6年11月1日）

釜石市立甲子小学校（令和6年11月22日）

(3) 入学（園）式及び卒業（園）式

市内各小中学校（幼稚園）（4月及び3月）

(4) 研修会等

岩手県市町村教育委員会協議会教育委員部会

佐野委員・佐々木委員出席（令和6年10月10日・11日）

Ⅲ 教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価の結果

1 点検・評価の基準

評価結果	取組内容（結果）
拡充（継続）	内容を拡充して取り組む
現 状 継 続	現状どおり継続して取り組む
縮小（継続）	内容を見直しながら継続
廃止（完了含む）	事業完了、他事業との統合

2 点検・評価の体系

個別事業の点検・評価は、「第六次釜石市総合計画」の基本目標4「地域と人のつながりの中でみんなが育つまち」の施策の体系に基づき、次の区分により整理しました。

基本施策1 未来を担う子どもたちの育成

【実施施策】 (1) 生きる力を育む学校教育の充実

基本施策2 子どもを育む環境づくり

【実施施策】 (1) 地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進
(2) 教育環境の充実とさらなる向上

基本施策3 生涯学習・スポーツの振興

【実施施策】 (1) 学びと実践が循環しつながりをつくり出す生涯学習社会の形成
(2) 豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進

基本施策4 歴史・文化・芸術文化の振興

【実施施策】 (1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進
(2) 橋野鉄鉾山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

3 点検・評価の結果

基本施策 1 未来を担う子どもたちの育成

実施施策 (1) 生きる力を育む学校教育の充実

事業名	外国語指導助手設置事業	令和 6 年度 決算額	4,238,807 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	英語によるコミュニケーション能力の向上と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するもの。		
取組内容	<p>職員 1 名と外国語指導助手 (ALT) 1 名による学校訪問を行い、担任が主となって授業を進める際に、児童生徒に適切な発音方法や表現について指導支援し、英語で積極的にコミュニケーションを図れるよう補助的な役割を担った。また、幼稚園やこども園を訪問し、幼少期においても英語に触れる機会を創出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問回数 (年間) 336 回 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 211 回 中学校 115 回 幼稚園・こども園 10 回 		
取組による成果と課題	<p>【成果】 児童生徒が英語に親しんだり、お互いに関わり合いながら、英語を適切に話したり聞いたりし、コミュニケーションを図ることの楽しさを経験する機会となっている。また、授業改善にも積極的に取り組み、教員個々の授業力の向上が図られた。</p> <p>【課題】 各校への訪問回数は、月に 1、2 回程度と少ないため、外国語の授業すべての時間に活用できていない。特に小学校は 1 週間に 1 回訪問するのが理想であるが、そのためには、ALT の増員が必要である。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	教育研究事業	令和6年度 決算額	648,106円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	幼稚園及び小中学校における学校課題の解決に向け取り組み、学校運営の円滑化と教育活動の充実・向上を図るもの。		
取組内容	<p>釜石市小中学校長会等6団体に対し各分野の研究業務を委託し、本市における学校教育の課題・問題解決に向けた協議・研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営（釜石市小中学校長会） ・学校教育課題（釜石地区小中学校副校長会） ・小規模・複式教育（釜石地区小規模・複式学校教育研究会） ・幼児教育（釜石市幼稚園教育研究会） ・学校図書館教育（釜石市学校図書館研究協議会） ・生徒指導に関すること（釜石市指導連絡協議会） <p>公開校（甲子小学校、唐丹中学校）を設け、学校ごとに課題を明らかにし、テーマに沿った教育研究を進めた。</p> <p>【公開校】（R5指定校、R6年度公開校）※分科会への参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲子小学校（※参加人数77名） <p>算数科において、数学的活動の充実を図る授業実践を通して、児童が自分の考えをもち、ともに深める児童の育成を目標に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐丹中学校（※参加人数46名） <p>思考・判断・表現力を育む言語活動を通して、確かな学力を育成する指導の在り方について研究に取り組んだ。</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>学校公開に向けて、授業実践を日頃から積み重ねることで校内研究の充実が図られ、市内教職員にも共有され、意識を高めることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>校内研究における実践の成果を、資質・能力の育成の視点から他教科の授業や異校種の指導でも生かしていく必要があるため、来年度より学校公開を小中連携交流会に変更し、異校種間の連携を強めることで教育活動の更なる充実を図る。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	釜石市学校文化体育振興会運営費補助 金	令和6年度 決算額	1,556,830 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	児童生徒の健康増進及び文化体育の向上を図るもの。		
取組内容	<p>児童生徒の健康増進及び文化体育に関する事業を行う釜石市学校文化体育振興会に補助金を交付した。</p> <p><補助金の用途></p> <p>○小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県小学生陸上競技交流大会県・全国大会補助 37名 ・岩手県タグラグビー大会補助 39名 <p>○中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県中学校総合体育大会、東北中学校総合体育大会、岩手県中学校新人大会等の中体連主催大会参加費補助 ・岩手県吹奏楽コンクール、岩手県アンサンブルコンテスト等の大会参加費補助 ・合同部活動が練習等を実施する際の交通費補助 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学生が参加する各種大会参加費の補助を実施し、児童生徒の健康増進及び文化体育の向上が図られた。 ・中学校の部活動において、生徒数の減少等により、学校を超えて合同で部活動を実施する種目が増え、移動時等における保護者等の負担が増えていることから、交通費相当額を補助し、保護者の負担軽減が図られた。 <p>【課題】</p> <p>中学校の合同部活動の交通費補助について、予算が縮小されたが、限られた予算の中で学校及び保護者の負担が軽減できるように、部活動の地域移行の検討状況等を踏まえ、補助の在り方を検討していく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	防災教育・復興教育推進事業	令和6年度 決算額	976,500円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた教育活動を推進し、郷土を愛しその復興・発展を支える人材を育成する。</p> <p>※岩手県からの委託事業（事業実施校は意向調査をもとに岩手県が決定）</p>		
取組内容	<p>①交流学習スクール ○事業実施校：唐丹中学校（2学年、3学年） 花巻市立矢沢中学校及び八幡平市立西根第一中学校の生徒との交流学習、イーハトーブ火山局で火山噴火災害学習を行った。</p> <p>②震災学習列車活用スクール ○事業実施校：釜石中学校（2学年） 東日本大震災についての学習として、市外の復興の様子を確認するため、三陸鉄道の震災学習列車に乗車した。</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>①交流学習スクール ・防災への意識を高め、自分の地域の自然災害への備えについて改めて考えることができた。</p> <p>②震災学習列車活用スクール ・震災当時の被害と復興の様子について学び、自然災害への心構えや自分ができること未来のためにできることを考えるきっかけになった。</p> <p>【課題】 岩手県からの委託事業として実施しているため、県の事業が廃止となった場合、市単独の事業として継続するか検討が必要である。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	ICT 支援員配置事業	令和 6 年度 決算額	2,398,915 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	急速に進む学校の ICT 化による学校現場の負担を軽減し、児童生徒の学びのために ICT 環境のさらなる有効活用を図るもの。		
取組内容	<p>専門的な知見を有する ICT 支援員を配置し、研修会や授業支援を実施することで教員の ICT 活用をサポートした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人数 1 名、月 96 時間 ・学校担当者向けの研修会の実施 ・Microsoft Teams を活用した相談支援の実施 ・教職員からの質問、サポート依頼への対応、学校訪問 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 ICT 支援員が学校現場での ICT の活用を多面的に支援し、併せてトラブル等を解決することで、教職員や児童生徒が安心して ICT 環境を活用することができた。</p> <p>【課題】 学校で ICT の活用が進んでおり、それに伴って各校からの問い合わせも多い状況にある。今後はタブレット端末の更新作業や統合型公務支援システムの本格的な運用に伴い、一層各校からの依頼が多くなっていくことが考えられる。学校数に対して支援員が不足していることも含め、引き続き人材確保に努める。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	要保護・準要保護児童生徒援助費 (小中学校費)	令和6年度 決算額	小学校費 学用品費等 10,364,272 円 学校給食費 16,415,430 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		中学校費 学用品費等 15,817,967 円 学校給食費 10,131,730 円
目的	経済的理由で就学困難な小中学生の保護者に対し、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るもの。		
取組内容	<p>学用品費等（通学用品費、校外活動費、修学旅行費、児童・生徒会費等）及び学校給食費の援助を行った。</p> <p>【小学校】 要保護：5人 準要保護：349人（内一般対象者274人、被災対象者75人） 小学校入学前学用品費支給者：28人（内一般対象者20人、被災対象者8人） 学校給食費援助人数：349人（内一般対象者274人、被災対象者75人） ※人数は援助した児童数（転出等により年度途中で援助が終了した児童も含む。）</p> <p>【中学校】 要保護：3人 準要保護：196人（内一般対象者146人、被災対象者50人） 学校給食費援助人数：194人（内一般対象者146人、被災対象者48人） ※人数は援助した生徒数（転出等により年度途中で援助が終了した生徒も含む。）</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 経済的理由で就学困難な小中学生の保護者に対し必要な援助を行った。</p> <p>【課題】 国の被災児童生徒就学援助事業費補助金の終了時期が不透明のため、終了した場合、現在の認定基準（生活保護基準×1.3倍未満）で事業を継続することができるのか、認定基準の見直しや財源確保を含め、実施内容を検討する必要がある。</p> <p>また、援助費目としてオンライン学習通信費の導入を望む声があることから、県内他市町村の状況を鑑みつつ、援助内容を検討する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	特別支援教育就学奨励費(小中学校費)	令和6年度 決算額	小学校費 568,254円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		中学校費 137,333円
目的	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、必要な経費の一部を補助することにより、特別支援教育の普及奨励を図るもの。		
取組内容	<p>学用品費、修学旅行費、学校給食費等の一部を補助した。</p> <p>【援助人数】 小学校：19人 中学校：2人</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 必要な経費の一部を補助することで、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>【課題】 国庫補助対象の援助費目の一つにオンライン学習通信費があるが、現在釜石市では援助対象費目として導入されていない。今後就学援助の対象費目としてオンライン学習通信費を追加する場合、就学奨励費においても同様に追加する必要があると考えられることから、県内他市町村の状況を鑑みつつ、援助内容を検討する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	中学生相互派遣事業 (青森市平和・防災学習事業)	令和6年度 決算額	653,560円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	青森市の中学生との交流を通して、平和や防災についての学習を深め、よりよい学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資するもの。		
取組内容	<p>【参加者】釜石市各中学校代表1学年10名(各校2名) 青森市中学校代表1学年10名(各校2名)</p> <p>【青森市での交流】7月26日～28日 青森市長との懇談や青森県防災教育センターでの研修、戦争遺構の見学を通して、平和と防災の取組について考えを深めた。平和祈念式典への参加を通して、釜石市のよさを見つめるとともに、平和の尊さと命の大切さを心に刻む機会となった。</p> <p>【釜石市での交流】8月9日 ・釜石市戦没者追悼式への参加、ボランティア団体「颯・2000の会」より艦砲射撃に関する紙芝居や体験した方の手記、戦争に関する絵本の読み聞かせ、生徒同士の意見交流、釜石市郷土資料館の見学を行った。青森空襲の被害と重ねながら、平和の尊さについて考えを深めた。</p> <p>【各校での共有】 ・参加者は、体験したことや学んだことを各学校の生徒に情報発信した。</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 互いの市を訪問し合い、平和や防災に関する歴史や現状について学びを深めることで、生徒の意識の向上が図られた。また、代表生徒が学んだことを各学校で発表することで、学校全体の平和教育や防災教育の意識が向上した。</p> <p>【課題】 代表生徒の学びを広く生かしていくために、自校での発表だけに限らず、発信する機会を設けるようにしたい。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	全国標準学力検査（NRT）の実施 （小中学校費）	令和6年度 決算額	小学校費 1,421,510円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		中学校費 1,164,760円
目的	標準学力検査（NRTテスト：相対評価法）を行うことで、全国の学力水準と比較して相対的に学力を把握し、調査分析により、個人内評価、補充指導に活用するもの。		
取組内容	<p>NRTテストを市内各小中学校（小学校9校、中学校5校）で4月に実施 ※検査教科は学年により限られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 2、3年生 国語と算数を実施 4～6年生 国語・算数・社会・理科を実施、 ・中学校 1年生 国語・数学・社会・理科を実施 2、3年生 国語・数学・英語・社会・理科を実施 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 学習指導要領に準拠し、各教科の内容に合わせた領域で構成されている検査であり、調査分析を行うことにより、個々の補充指導等に活用することができ、学力向上に繋がる一助となった。</p> <p>【課題】 NRTテストとは別に年間の指導目標の実現状況を確認するための客観的な資料が得られる内容の標準学力検査（CRTテスト：絶対評価法）もあり、それぞれに実施目的もあるため、各学校の意見を伺いながら、市内の子ども達をより成長させるための学力調査の方法について、協議を進めていく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	英検受験料補助事業【新規】	令和6年度 決算額	349,300円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	生徒の英語学習に対する意欲と学力向上を図るもの		
取組内容	市内中学生で3級以上の英語検定を受験する生徒へ受験料の補助を行った。		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 令和6年度公立中学校における英語教育実施状況調査において英語能力に関する外部試験を受験したことがある生徒数のうち、CEFRA1 レベル相当以上を取得している生徒数が増加した。</p> <p>補助人数（うち合格人数） 3級：57名（28名） 準2級：14名（4名）</p> <p>【課題】 3級以上の補助金交付実績が市内中学生全体の11.6%だったため、英語検定や補助制度があることの周知のためチラシの配布や、現在は年1人につき1回の補助であるが、3級合格者は準2級を同年度に受ける場合も補助を行う等、より受験者が増えるような取り組みを検討する。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	放課後学習支援員配置事業【新規】	令和6年度 決算額	3,595,680円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>自分に自信をもち、可能性を広げ、将来活躍できる人材を育成するとともに、児童生徒の学力の向上を図るため、放課後学習の場を整備することにより、多様な学習の場を保障し、児童生徒が自ら求める場の選択肢を広げることで、課題を克服し、学習への意欲につなげ、積極的に参加する姿勢を育むことで学力の向上につなげる。</p>		
取組内容	<p>分かる授業づくりに向けた学校への支援・指導を大切にすることに加え、学習内容の定着とさらなる学習意欲を喚起していくため、放課後の時間を利用した学習会等の実施を新規事業として、令和6年度から実施している。</p> <p>令和6年度は、市内中学校5校の3年生生徒希望者を対象に、放課後に週1回程度の学習会、長期休暇及び休日学習会を開催した。</p> <p>学習会の開催日は、各中学校の要望を受け、協議のうえ決定し、1回1時間30分程度（始業準備から終業点検までおおむね2時間程度）の実施。</p> <p>令和6年度実施回数 193回 参加延べ人数 1,603人</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つまづいたところを解消したい、応用問題や過去の入試問題にチャレンジしたい等、自分に必要な学習を生徒自らが選択し、自分の学力に合わせた学習に取り組むことができた。 ・参加者アンケートでは、参加した生徒のうち、学習意欲が高まったと回答した生徒は79%、学習習慣が身についたと回答した生徒は76%と成果が見られた。 <p>【課題】</p> <p>学校の行事や部活動のために、実施が難しい時期もあり、学校によって実施回数に差が表れてしまうので、児童生徒の学習の場を確保するために学校と調整を進めていく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

基本施策2
実施施策

子どもを育む環境づくり

(1) 地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

事業名	教育広報発行事業	令和6年度 決算額	274,560円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	教育行政について広く市民に周知するもの。		
取組内容	<p>「教育広報かまいし」(A4版・4ページ・4色カラー刷)を年2回(10/1号、3/1号)発行し、全世帯へ配付した。</p> <p>【主な掲載記事】</p> <p>10/1号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「釜石市防災教育の手引き」作成 ・不登校の取組・放課後学習について ・青森市中学生との交流 ・学校規模適正化・適正配置推進計画策定委員会の開催 ・教育委員の再任 <p>3/1号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーのまち釜石の取組 ・学校給食センター事業「料理募集入賞作品」の決定 ・学校給食における地産地消の取組 ・学校規模適正化・適正配置の取組 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>教育委員会の事業や様々な取り組みを広く市民に紹介することができた。 また、あわせて子どもたちの活動の様子も多数紹介し、教育活動にさらなる関心をもってもらうことができた。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	かまいし絆会議運営事業	令和6年度 決算額	430,671円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	市内の小中学生一人ひとりが将来の釜石市をつくるリーダーになる力を身に付けるもの。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・かまいし絆会議の開催（8/6、2/14） 8月は釜石市民ホール TETTO、2月は釜石情報交流センターPITを会場に、児童生徒28名（各小中学校2名）、引率教員14名（各小中学校から1名）が参加し、「絆の日」の取り組みや絆会議4つの柱の活動などについて話し合った。 8月については、かまいし未来づくりプロジェクト19名も参加し、釜石市の健康づくりに関する課題について話し合った。 2月は、釜石市・大館市の児童生徒交流会を行った。釜石からは、「かまいし絆会議」の活動紹介、大館市からは、「子どもサミット」の活動紹介をし、お互いの活動から学びを得ることができた。 ・中学校専門部会の開催（7/16、1/20） 7月は、各中学校3年生代表2名と担当教員1名が参加し、かまいし絆会議の本会議の議題について話し合った。1月は、各中学校2年生代表2名と担当教員1名が参加し、新体制の確認、本会議に向けて話し合う内容を検討した。 ・かまいし絆会議通信の発行（学校教育課、各学校） 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 釜石市小中学生による「かまいし絆会議」が、自分たちの生活や地域のこと に課題意識を持ち、児童会や生徒会を中心に自分たちにできることを考える場 となった。防災や絆の日の取り組みについて、自分事として考えをもち、意見 交流をすることができた。</p> <p>【課題】 市内の小中学生全員が会議のメンバーの一員であることの意識の低下がみ られる。そのため、各校で取り組みを推進する際に、趣旨を説明したり、全員 が当事者であるという意識づけを行うこととする。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	かまいしコミュニティスクール推進事業	令和6年度 決算額	2,743,910円																														
担当課	教育委員会事務局学校教育課																																
目的	<p>市内小中学校において地域に元気を与えるような活動、当市の風土、伝統及び有形無形の財産を活用して郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む。</p> <p>地域と協働により取り組む活動に要する経費に対し、交付金を交付するもの。</p>																																
取組内容	<p>市内小中学校 14校に対し、各校 20万円を上限として交付金を交付した。</p> <p>【事業内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石小学校</td> <td>伝統芸能の継承活動、鉄づくり体験、農業・水産業等の体験活動</td> </tr> <tr> <td>双葉小学校</td> <td>防災学習・施設見学、ふるさと釜石の実践集作成</td> </tr> <tr> <td>白山小学校</td> <td>米づくり体験、高齢者との交流活動、地域交流イベント(清掃活動、懇談会、ふれあいフェスティバル)</td> </tr> <tr> <td>平田小学校</td> <td>清掃活動、高齢者との交流活動、地域の歴史・産業の学習</td> </tr> <tr> <td>小佐野小学校</td> <td>校報の地域配布、伝承活動「小川しし踊り」、鉄の学習</td> </tr> <tr> <td>甲子小学校</td> <td>交通安全・防災活動、お年寄り訪問、市内施設見学</td> </tr> <tr> <td>鶴住居小学校</td> <td>防災学習、清掃活動、伝統芸能「鶴住居虎舞」の継承活動、ラグビー活動</td> </tr> <tr> <td>栗林小学校</td> <td>伝統芸能の継承活動、自然学習、農園活動、鉄の学習</td> </tr> <tr> <td>唐丹小学校</td> <td>環境整備、花卉野菜栽培、郷土料理作り、地域交流活動</td> </tr> <tr> <td>釜石中学校</td> <td>地域講師による三味線指導</td> </tr> <tr> <td>甲子中学校</td> <td>特設ラグビー部活動、防災教育、鉄の学習</td> </tr> <tr> <td>釜石東中学校</td> <td>防災訓練、漁業体験、介護体験、清掃活動</td> </tr> <tr> <td>唐丹中学校</td> <td>小中合同運動会、環境美化活動、地域行参画</td> </tr> <tr> <td>大平中学校</td> <td>福祉学習・高齢者との交流活動、防災学習、職業体験</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	活動内容	釜石小学校	伝統芸能の継承活動、鉄づくり体験、農業・水産業等の体験活動	双葉小学校	防災学習・施設見学、ふるさと釜石の実践集作成	白山小学校	米づくり体験、高齢者との交流活動、地域交流イベント(清掃活動、懇談会、ふれあいフェスティバル)	平田小学校	清掃活動、高齢者との交流活動、地域の歴史・産業の学習	小佐野小学校	校報の地域配布、伝承活動「小川しし踊り」、鉄の学習	甲子小学校	交通安全・防災活動、お年寄り訪問、市内施設見学	鶴住居小学校	防災学習、清掃活動、伝統芸能「鶴住居虎舞」の継承活動、ラグビー活動	栗林小学校	伝統芸能の継承活動、自然学習、農園活動、鉄の学習	唐丹小学校	環境整備、花卉野菜栽培、郷土料理作り、地域交流活動	釜石中学校	地域講師による三味線指導	甲子中学校	特設ラグビー部活動、防災教育、鉄の学習	釜石東中学校	防災訓練、漁業体験、介護体験、清掃活動	唐丹中学校	小中合同運動会、環境美化活動、地域行参画	大平中学校	福祉学習・高齢者との交流活動、防災学習、職業体験
学校名	活動内容																																
釜石小学校	伝統芸能の継承活動、鉄づくり体験、農業・水産業等の体験活動																																
双葉小学校	防災学習・施設見学、ふるさと釜石の実践集作成																																
白山小学校	米づくり体験、高齢者との交流活動、地域交流イベント(清掃活動、懇談会、ふれあいフェスティバル)																																
平田小学校	清掃活動、高齢者との交流活動、地域の歴史・産業の学習																																
小佐野小学校	校報の地域配布、伝承活動「小川しし踊り」、鉄の学習																																
甲子小学校	交通安全・防災活動、お年寄り訪問、市内施設見学																																
鶴住居小学校	防災学習、清掃活動、伝統芸能「鶴住居虎舞」の継承活動、ラグビー活動																																
栗林小学校	伝統芸能の継承活動、自然学習、農園活動、鉄の学習																																
唐丹小学校	環境整備、花卉野菜栽培、郷土料理作り、地域交流活動																																
釜石中学校	地域講師による三味線指導																																
甲子中学校	特設ラグビー部活動、防災教育、鉄の学習																																
釜石東中学校	防災訓練、漁業体験、介護体験、清掃活動																																
唐丹中学校	小中合同運動会、環境美化活動、地域行参画																																
大平中学校	福祉学習・高齢者との交流活動、防災学習、職業体験																																
取組による成果と課題	<p>【成果】</p> <p>各学校が「かまいしコミュニティスクール推進事業」を活用し、地域に元気を与えるような活動や郷土理解を深める学習を地域と協働で行うことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>交付金使用の自由度が高いことから、学校配当予算として措置されている消耗品・備品購入費と重複がないよう住み分けを明確にし、より目的の達成に資する活動・支出がなされるよう計画を精査していく必要がある。</p>																																
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																																

事業名	学校給食センター運営費	令和6年度	250,119,300円																				
担当課	教育委員会事務局学校教育課 学校給食センター	決算額																					
目的	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な食材の確保、衛生管理に十分な注意をはらい、栄養バランスの良い安全でおいしい学校給食を提供する。 児童生徒一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自らの健康管理ができるよう食育を推進する。 																						
取組内容	<p>○地場産物の利用</p> <p>水産農林課、産直と情報共有を図り、地場産物の確保利用につなげた。 じゃがいも（メークイン、北あかり）、精白米、きゅうり、りんご、大根、白菜、たまねぎ、トマト（すずこま）など</p> <p>〈地場産食材使用状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>使用数量</td> <td>1,919 kg</td> <td>3,096 kg</td> <td>2,891 kg</td> <td>3,472 kg</td> <td>3,345 kg</td> </tr> </tbody> </table>					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	品目数	11	10	11	10	15	使用数量	1,919 kg	3,096 kg	2,891 kg	3,472 kg	3,345 kg
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																	
	品目数	11	10	11	10	15																	
	使用数量	1,919 kg	3,096 kg	2,891 kg	3,472 kg	3,345 kg																	
	<p>○食に関する指導</p> <p>栄養教諭による学校訪問指導（授業）を行った。</p> <p>〈指導実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>58</td> <td>56</td> <td>【学校給食センター】9 （【学校教育課】52）</td> <td>【学校給食センター】7 （【学校教育課】47）</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施回数	58	56	【学校給食センター】9 （【学校教育課】52）	【学校給食センター】7 （【学校教育課】47）	70						
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																		
実施回数	58	56	【学校給食センター】9 （【学校教育課】52）	【学校給食センター】7 （【学校教育課】47）	70																		
<p>※R4、R5年度は栄養教諭が学校給食センターと学校教育課に1名ずつ分散配置。</p>																							
<p>○アレルギー対応給食</p> <p>乳・卵アレルギーを有する児童生徒に対し、除去食・代替食の提供を行った。</p>																							
<p>○献立募集</p> <p>小中学生を対象に「トマト」を使ったわが家の自慢料理を募集した。入賞者には賞状及び記念品を贈呈した。</p> <p>応募数：小学校 52 作品（最優秀賞1、優秀賞4） 中学校 6 作品（優秀賞1）</p>																							

	<p>うもろこし) や乾物野菜 (切干大根) を取り入れた給食の提供を行った。</p> <p>○姉妹都市・友好都市交流献立 愛知県東海市及び富山県朝日町にちなんだ給食を提供した。</p> <p>○まるごと釜石給食 釜石産の新米、野菜と釜石はまゆりサクラマスを使用した給食を提供し、併せて、食材生産者を対象に試食会を実施した。</p> <p>○施設見学及び給食試食会 ・施設見学 4回 81人 ・給食試食会 20回 425人</p>
<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】 ・地元企業のご厚意により釜石はまゆりサクラマスを使用することができ、まるごと釜石給食として地元産米、野菜とともに提供したことにより、児童生徒が、地域の食材や産業について理解を深めることにつながった。</p> <p>【課題】 ・今後も地場産物を継続使用するためには、地産地消の推進を図るとともに予算確保に努めていく。また地元産食材の安定した量の確保、及び新たな品目の活用を検討していく。 ・残量調査の結果から、児童生徒の嗜好を考慮しながら調理方法や味付け等をさらに検討していく。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	厨房備品更新事業	令和6年度 決算額	22,000,000 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課 学校給食センター		
目的	安心安全で確実な学校給食を学校の給食実施日に確実に提供し、学校給食を生かした食育の推進に繋げたい。		
取組内容	<p>旧学校給食センターからの移設厨房備品の一つであり、経年劣化により保守点検業者から更新の必要性を指摘されていた真空冷却機及び冷水チラーを更新した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真空冷却機 1台 ・冷水チラー 1台 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和え物等副菜の安全な提供に不可欠な真空冷却機及び冷水チラーの更新を図ることができた。このことが、安心安全で確実な学校給食の提供を継続につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧学校給食センターからの移設厨房備品である冷機器類、マイコンスライサー等についても高頻度の修繕にて稼働が保たれている状態であり、安心安全な学校給食の提供のためには、これらの確実な更新が必要である。 		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	子ども・子育て支援給付事業（給食費の一部無償化事業）	令和6年度 決算額	9,917,510 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課 学校給食センター		
目的	多子世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進する。		
取組内容	令和5年度に引き続き高校生以上(社会人、学生含む)の子も含めた上から3人目以降の児童生徒の給食費の一部無償化を実施した。 【対象件数】 201人(小学生130人、中学生71人)		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 第3子以降の児童生徒の給食費無償化を実施することにより、多子世帯の学校給食費の経済的負担の軽減が図られ、子育て支援につなげることができた。</p> <p>【課題】 学校給食費の負担軽減のさらなる拡充については、財源確保が大きな課題となり、国や岩手県による財源支援がなければ困難であることから、国の検討状況を踏まえ、子育て施策全体の中で総合的に検討していく必要がある。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

基本施策2
実施施策

子どもを育む環境づくり

(2) 教育環境の充実とさらなる向上

事業名	岩手県立釜石高等学校定時制教育振興会運営補助金	令和6年度 決算額	50,000円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	岩手県立釜石高等学校定時制教育の振興を図るもの。		
取組内容	<p>岩手県立釜石高等学校定時制教育振興会が行う教育振興事業に要する経費に対して、補助金を交付した。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠足、産業体験学習、マリンスポーツ体験などの実施 ・釜高祭での展示作品づくり 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 各種体験学習にかかる経費を補助することにより、教育活動や学校行事が活発に行われ、生徒の学習意欲の向上が図られた。</p> <p>【課題】 補助金制度の趣旨に沿って、事業に必要な範囲での補助とするために、同教育振興会の事業内容、決算状況を精査し、補助金額や補助の方法等を検討する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	奨学資金貸付金	令和6年度 決算額	2,556,000 円			
担当課	教育委員会事務局総務課					
目的	優秀な学生であって、経済的事由により修学の困難な者に対して、学費の貸与を行うことにより修学の機会を与え、有用な人材の育成を図るもの。					
取組内容	奨学生に対し継続して学費の貸与を行ったほか、随時募集及び奨学金の返還猶予を行った。					
	貸与月額 ・高等学校 16,000 円以内 ・大学等 45,000 円以内 (短期大学、専門学校及び大学院も含む)					
	【奨学金の貸付者数】					
	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	奨学金の貸付者数	20(5)	14(2)	13(3)	12(3)	5(0)
	※()は、新規貸付者数					
取組による 成果と課題	【奨学金の追加募集(随時)及び奨学金の返還猶予者数】					
	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	追加募集者数	0	0	0	0	0
	返還猶予者数	2(1)	1(1)	1(1)	1	1
	※()は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う収入減によるもの					
取組による 成果と課題	【成果】					
	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の金銭的な負担の軽減を図り、安心して勉学に取り組める環境を提供することができた。 ・令和6年度に所得基準の見直しを行った結果、新規貸付申請が2名あった。 					
取組による 成果と課題	【課題】					
	日本学生支援機構との制度の違いや、釜石市育英会独自の所得基準をPRし、貸付を必要とする方に広く丁寧な情報提供を行うことが必要である。					
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)					

事業名	学校施設整備事業（小中学校費）	令和6年度 決算額	小学校費 96,449,700円
担当課	教育委員会事務局総務課		中学校費 2,530,000円
目的	<p>学校施設の長寿命化や児童生徒の教育及び学習環境の向上を目的として、体育館照明のLED化、特別教室のエアコン設置、校舎内のトイレの洋式化を進めるもの。</p> <p>また、次年度事業に備え、図面作成や設計上の諸条件を整理することを目的に設計業務を行うもの。</p>		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平田小学校の屋内運動場照明をLEDに改修した。(6,563,700円) ・平田小学校の特別教室にエアコンを設置した。(8,350,100円) ・平田小学校の校舎内和式トイレを洋式トイレに改修した。(75,535,900円) ・次年度に計画する甲子小学校のトイレ洋式化改修に係る詳細設計を行った。(6,050,000円) ・甲子中学校の屋内運動場照明をLEDに改修した。(2,530,000円) 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化により、館内照度の向上と省エネ化が図られた。 ・特別教室のエアコン設置によって児童の熱中症リスクの軽減が図られるほか、教育及び学習環境が大幅に向上した。 ・トイレ洋式化改修により、学校トイレの衛生環境の改善が図られるほか、水まわりや照明を改善することで節水や省エネ効果で年間経費削減も期待できる。 ・前年度に工事設計を行うことにより、国庫補助申請に必要な詳細な資料を準備することができたほか、次年度の本工事に要する工期を確保することができた。 <p>【課題】</p> <p>学校施設の長寿命化や設備改修は、児童生徒が安心して学べる教育環境の確保と災害時の避難所機能の強化のためにも重要だと認識しているが、改修を要する市内小中学校が数多くあることから、全ての設備改修が完了するまでには、多額の事業費と相当の期間を要する状況にある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	学校規模適正化・適正配置の取組	令和6年度 決算額	245,000円
担当課	教育委員会事務局 学校規模適正化推進室		
目的	児童生徒数が減少し、小・中学校の小規模校化が予測される中、学校規模の面から望ましい教育環境を整備し児童生徒の「強く生き抜く力」を育成するため、学校規模の適正化・適正配置を推進するもの。		
取組内容	<p>1 釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画策定委員会（委員19人）開催</p> <p>(1)目的 令和6年3月に策定した釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針の具現化に向け、推進計画策定に向けた検討を進める。</p> <p>(2)経過 令和6年度は8月以降4回開催。児童生徒数減少の現状を理解し、各学校長、PTA、地域住民及び生徒の意見等を共有しつつ、令和7年中の計画策定に向け、計画素案について検討・協議を行った。また、第2回委員会では小中一貫教育についての勉強会を開催し、制度に対する理解を深めた。</p> <p>2 関係者との意見交換、情報提供等の実施</p> <p>(1)目的 児童生徒数減少の現状と見込を共有するとともに、適正化の実現に向け、情報提供及び適正化を進める際の課題等を確認する。</p> <p>(2)経過</p> <p>① 各学校長との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校全14校、延べ22回実施（令和6年5月～令和7年3月） <p>②PTA役員との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5校（釜石小、白山小、栗林小、唐丹小・中）、延べ6回実施（令和6年6月～令和7年3月） <p>③PTA会員との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2校（栗林小、白山小）、それぞれ1回ずつ実施（令和7年2月） ・市P連会員向け、1回実施（令和7年2月） <p>④各町内会長等との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14回実施（令和6年11月～令和7年3月） 		

<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】 適正化の対象となり得る学校の校長、PTA、地域の考え方を確認できたことで、「釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画」を検討する際の大きな参考となった。それにより、令和7年度中の計画策定に向けた取組が着実に進んでいると捉えている。</p> <p>【課題】 同一校の保護者間でも適正化に対する考え方が異なることや、地域住民の考え方も異なっている場合もあるため、関係者全員が納得する形での学校統合の実現は難しい側面がある。統合の検討を進める必要がある学校において、教育委員会が考える方向性を示しながら丁寧な説明と意見交換を実施し、理解を得る必要があり、合意形成まで時間を要することも想定される。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	教育用コンピュータ管理経費（小中学校費）	令和 6 年度 決算額	教育総務費 35,969,386 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		小学校費 18,369,527 円 中学校費 12,133,209 円
目的	市内小中学校及び教育委員会事務局にて使用している PC 等の適切な維持管理を行うもの。		
取組内容	<p>校務用コンピュータ機器及び情報教育ネットワークにかかる維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ機器等の保守管理業務委託（小・中） ・授業支援ソフト使用料（小・中） ・インターネット使用料（教総・小・中） ・学習者用タブレット賃借料（小・中） 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 ICT 機器等の維持管理を適切に行うことができた。また、業務委託先の事業者と連携の上、市内小中学校の ICT 機器等のトラブルに迅速に対応した。</p> <p>【課題】 GIGA スクール構想当初に導入した機器の導入から 5 年が経過するため、機器の更新を計画的に行う必要がある。</p> <p>令和 7 年度末には学習者用タブレットの更新があるため、令和 8 年度から安心して使えるように整備を行う。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	教育研究所運営費	令和6年度 決算額	571,158 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>幼稚園・保育所・こども園・小中学校の教育実践に資する活動を計画し運営するもの。</p> <p>教育課題やこれからの学校教育に求められる内容等について、研究・研修・相談活動を行うことにより、学校教育における教育成果の向上に寄与するもの。</p>		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究所各研究班による課題研究 <ul style="list-style-type: none"> 「こころの教育研究班」 各校において『防災教育の手引き』を活用した授業実践を積み重ねた。防災意識を高めながら、郷土愛を並行して育むことを確認した。 「授業づくり研究班」 深い学びの実現を図る授業の在り方をテーマとして、子どもたちが『学びのつながり』を実感できる授業、『逆向き設計』で考える単元等の構成という2つのキーワードをもとに授業づくりに取り組み、実践を深めた。 一泊二日で秋田県大館市での視察を実施し、授業参観を行い、今求められている授業について理解を深めた。 「幼保小連携推進委員会」 小学校の生活科が、教科間の横のつながりと幼児期からの発達段階に応じた縦のつながりとの結節点であることを意識しながら、交流活動等を計画的に進めた。 ・教育研究所研究発表大会（1月10日） <ul style="list-style-type: none"> 岩手大学名誉教授より講演いただき、違う考えがあるから学校に価値があるのだと学校の意義について考えることができた。また、学級の雰囲気コミュニケーションの活発さに大きく影響するということで、授業改善だけではなく、生徒指導についても考える機会となった。 ・心身の不安や悩みや登校への不安等を抱える児童生徒への支援及び指導のため、教育支援教室（若葉教室）を運営した。 ・児童生徒の保護者からの悩みや相談を受け、適切な支援を行った。 ・中学校3校に教育支援員を配置し、校内での居場所づくりとしての支援を行った。 		

<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究班・推進委員会において、研究計画に基づいた研究・研修を行い、研究発表大会を通して研究の成果及び課題等を全教職員で共有した。 ・教育支援教室に通室する児童生徒一人一人の状況に応じた支援を行うとともに、学校と情報共有し、連携しながら取り組みを進めた。 <p>【課題】</p> <p>今後も身に付けさせたい資質・能力を明確にした授業づくりに努め、児童生徒に「確かな学力」を身につけるため、授業力・指導力の向上を図る必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	令和6年度 決算額	290,000円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	児童生徒の安心・安全な登下校ならびに児童生徒一人一人の交通安全に対する意識の向上につなげるもの。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールガードリーダーの委嘱 市内全体の安全確保等を強化するため、スクールガードリーダー（1名）を委嘱し、市内の巡回指導及び見守り活動により、情報共有、評価を行い、安心・安全の確保に努めた。 ・ 登下校時の見守り 毎日のように登校・下校の時間帯に各校の児童生徒の見守りと安全指導を行った。登下校に関して学校に情報提供し、学校との連携を図った。 ・ 市内巡回パトロール 下校時間に合わせて各小学校周辺をパトロールした。低学年の下校時刻から巡回を始め、高学年の下校時刻まで実施した。 ・ スクールガードとの情報共有、スクールガードへの指導助言 各校の副校長と登下校の様子や通学路の危険箇所等について情報交換し、各学校のスクールガードへの情報共有を行った。 		
取組による成果と課題	<p>【成果】 年間を通じて児童生徒が安全に登下校することができるように見守りを継続したことで、児童生徒の交通安全に対する意識の向上が見られた。今後も、安全な登下校となるように見守りや指導を続けていく。</p> <p>【課題】 見守りに頼るのではなく、児童生徒自身の意識をさらに向上させていくこと。対策が不十分である危険箇所への対策を進めていくこと。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	特別支援教育支援員配置事業	令和6年度 決算額	51,709,159 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	様々な障がいのある児童生徒への学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う支援員を配置し、当該児童生徒の学校生活の充実を図るもの。		
取組内容	<p>各学校に特別支援教育支援員を配置し、支援を必要としている児童生徒に対し適切な支援を行った。</p> <p>【配置校】 釜石小、双葉小、白山小、平田小、小佐野小、甲子小、鶴住居小、唐丹小 釜石中、甲子中、釜石東中、大平中</p> <p>【配置人数】 19 名</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 聞くことに困難を示す児童に対して教員の話を繰り返して聞かせることで児童の授業への理解を助けるなど、障がいのある児童生徒に対し、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行うことができた。</p> <p>また、支援が必要な児童生徒への対応が教員の負担増にもつながっていたが、支援員が対応することにより、教員の負担軽減につながった。</p> <p>【課題】 障がいのある児童生徒は増加傾向だが、現在の人数では必要としているすべての学校に対し十分な配置ができていない。増員するためには予算の確保が必要である。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	こころのケア事業	令和6年度 決算額	1,790,578 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	子どもたちやその保護者、教職員の震災によるストレス障害などを早期に把握し、教育現場におけるきめ細やかなケアに対応するもの。		
取組内容	<p>スクールカウンセラー（臨床心理士）が各学校を巡回（県派遣2人＋配置型1人）し、カウンセリングを実施した。</p> <p>小学校：児童 903回、保護者 97回、教職員352回 中学校：生徒 699回、保護者 79回、教職員389回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、保護者、教職員との定期的な面談の実施。 ・スクールカウンセラーによる校内研修会での講義、サポート授業でのティームティーチングの実施。 ・保護者や教職員へ対し、様子が気になる児童生徒への対応について、日常における支援の助言をした。 ・スクールソーシャルワーカーや関係機関へつなげるきっかけ作りを行った。 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 児童生徒や保護者の面談を行い、サポートすることで、心のケアを図ることができた。定期的な面談の他に緊急を要する面談にも対応した。</p> <p>【課題】 面談を希望する児童生徒・保護者が多く、日程や時間の確保が難しいことから、スクールカウンセラーの増員を県へ要望していく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	スクールバス運行事業（小中学校費）	令和6年度 決算額	小学校費 23,709,457円		
担当課	教育委員会事務局学校教育課		中学校費 12,396,437円		
目的	遠距離通学の児童生徒の通学手段を確保するためスクールバス及びタクシーを運行するもの。				
取組内容	【スクールバス利用児童生徒数】 <小学校> 113人 平田小7人、鵜住居小36人、栗林小4人、甲子小48人、唐丹小18人 <中学校> 55人 釜石東中29人、大平中4人、甲子中13人、唐丹中9人 【運行状況】				
		配備場所	配備台数	車種	対象学校等
		平田小	1台	ワゴン車	平田小、大平中 ※新規購入
		鵜住居小 釜石東中	1台	中型バス	栗林小、鵜住居小、釜石東中
			1台	マイクロバス	鵜住居小、釜石東中
			1台	マイクロバス	甲子小、鵜住居小、釜石東中
			1台	マイクロバス	栗林小、鵜住居小、釜石東中
			1台	中型バス	車検等の代替バス
			1台	マイクロバス	車検等の代替バス
			1台	ワゴン車	運行終了車両
		唐丹小 唐丹中	1台	マイクロバス	唐丹小、唐丹中
		鈴子駐車場	1台	マイクロバス	唐丹小、唐丹中
	甲子中	1台	中型バス	甲子小、甲子中	
	合計	11台			
	【スクールタクシー利用児童生徒数等】 小学校：9名 新浜町地区：釜石小2名 上小川地区：小佐野小1名 両石地区：鵜住居小6名 中学校：2名 上小川地区：釜石中				

<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】 遠距離通学の児童生徒の通学手段を確保することにより、登校時の安全確保や保護者の負担軽減を図ることができた。</p> <p>【課題】 初年度登録より10年以上経過しているバスが多く、故障も多くなっている。また、ルートによっては道路凍結により運行できない場合もあり、児童生徒の安全のためにも、計画的にスクールバスの更新をしていく必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	学校図書館図書購入費（小中学校費）	令和6年度 決算額	小学校費 1,759,770 円																																																																											
担当課	教育委員会事務局学校教育課		中学校費 1,176,037 円																																																																											
目的	児童生徒の読書環境の推進に向けて、小中学校の図書整備を計画的に進め、教育環境の充実を図るもの。																																																																													
取組内容	<p>国が示す学校図書標準に基づき各小中学校の図書館図書を購入した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>購入数</th> <th>購入額</th> <th>年間貸出人数 (実人数)</th> <th>年間貸出数 (のべ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>釜石小学校</td><td>79</td><td>196,000 円</td><td>79</td><td>9,632</td></tr> <tr><td>双葉小学校</td><td>87</td><td>196,000 円</td><td>117</td><td>7,922</td></tr> <tr><td>白山小学校</td><td>50</td><td>98,000 円</td><td>31</td><td>3,474</td></tr> <tr><td>平田小学校</td><td>101</td><td>220,500 円</td><td>143</td><td>7,878</td></tr> <tr><td>小佐野小学校</td><td>151</td><td>318,500 円</td><td>284</td><td>15,307</td></tr> <tr><td>甲子小学校</td><td>144</td><td>294,000 円</td><td>225</td><td>8,600</td></tr> <tr><td>鵜住居小学校</td><td>106</td><td>196,000 円</td><td>140</td><td>10,397</td></tr> <tr><td>栗林小学校</td><td>52</td><td>122,500 円</td><td>30</td><td>280</td></tr> <tr><td>唐丹小学校</td><td>55</td><td>118,270 円</td><td>43</td><td>2,330</td></tr> <tr><td>釜石中学校</td><td>191</td><td>425,557 円</td><td>38</td><td>272</td></tr> <tr><td>甲子中学校</td><td>116</td><td>301,000 円</td><td>105</td><td>520</td></tr> <tr><td>釜石東中学校</td><td>75</td><td>151,844 円</td><td>36</td><td>255</td></tr> <tr><td>唐丹中学校</td><td>56</td><td>134,250 円</td><td>26</td><td>350</td></tr> <tr><td>大平中学校</td><td>103</td><td>163,386 円</td><td>13</td><td>62</td></tr> </tbody> </table>			学校名	購入数	購入額	年間貸出人数 (実人数)	年間貸出数 (のべ)	釜石小学校	79	196,000 円	79	9,632	双葉小学校	87	196,000 円	117	7,922	白山小学校	50	98,000 円	31	3,474	平田小学校	101	220,500 円	143	7,878	小佐野小学校	151	318,500 円	284	15,307	甲子小学校	144	294,000 円	225	8,600	鵜住居小学校	106	196,000 円	140	10,397	栗林小学校	52	122,500 円	30	280	唐丹小学校	55	118,270 円	43	2,330	釜石中学校	191	425,557 円	38	272	甲子中学校	116	301,000 円	105	520	釜石東中学校	75	151,844 円	36	255	唐丹中学校	56	134,250 円	26	350	大平中学校	103	163,386 円	13	62
学校名	購入数	購入額	年間貸出人数 (実人数)	年間貸出数 (のべ)																																																																										
釜石小学校	79	196,000 円	79	9,632																																																																										
双葉小学校	87	196,000 円	117	7,922																																																																										
白山小学校	50	98,000 円	31	3,474																																																																										
平田小学校	101	220,500 円	143	7,878																																																																										
小佐野小学校	151	318,500 円	284	15,307																																																																										
甲子小学校	144	294,000 円	225	8,600																																																																										
鵜住居小学校	106	196,000 円	140	10,397																																																																										
栗林小学校	52	122,500 円	30	280																																																																										
唐丹小学校	55	118,270 円	43	2,330																																																																										
釜石中学校	191	425,557 円	38	272																																																																										
甲子中学校	116	301,000 円	105	520																																																																										
釜石東中学校	75	151,844 円	36	255																																																																										
唐丹中学校	56	134,250 円	26	350																																																																										
大平中学校	103	163,386 円	13	62																																																																										
取組による 成果と課題	<p>【成果】 読書に親しむ教育環境の充実により、児童生徒や教職員の情報ニーズへの対応、学習支援や情報の収集・選択・活用能力を育むことが図られた。</p> <p>【課題】 図書の購入のほか、各校の蔵書数の把握や図書の更新を進める必要がある。 また、児童生徒が借りたくなる学校図書館となるような取り組みを検討していきたい。</p>																																																																													
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																																																																													

事業名	学校適応支援員配置事業	令和6年度 決算額	9,109,054 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	主に別室登校の児童生徒への学習支援や個別支援を行う支援員を配置し、長期欠席になることを防ぎ、不登校生徒の減少及び改善を図るもの。		
取組内容	<p>市内小学校1校(中学校1校と兼任)及び市内中学校2校に学校適応支援員を配置し、主に別室登校の児童生徒に対し、各種支援(学習支援、進路選択に関する支援等)を行った。</p> <p>【配置校】 釜石中、釜石東中、甲子小(甲子中と兼任)</p> <p>【配置人数】 3名</p> <p>※令和7年度は5名での対応となった。</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>支援員が常にいることにより、教室以外の居場所として選択できるようになり、教室に入ることができない児童生徒にとって安心して登校できる環境となっている。</p> <p>また、これまでの教員定数では十分に対応できず負担増にもつながっていたが、支援員が対応することにより、教員の負担軽減につながった。</p> <p>【課題】</p> <p>令和7年度は各中学校に1名ずつ配置されたが、市内各小学校でも不登校や別室登校の児童生徒は増加傾向にある。現在の人数では必要としている小学校を含めたすべての学校に対し十分な配置ができていないが、増員するためには予算の確保が必要である。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	スクールバス購入事業【新規】	令和6年度 決算額	4,113,977 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	市所有のスクールバスは初年度登録から10年以上経過しているものが多く、経年劣化も著しいことから故障が多いため、児童生徒の安全及びスクールバスの適切な運行のため、スクールバスの更新を行うもの。		
取組内容	平田小・大平中が利用するスクールバス運行ルートでは急激な坂があり、冬期の路面凍結時には現行のスクールバスでは坂道を登れないことがあるため、ワゴンタイプの四輪駆動車を購入し、当該ルートに導入する。		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 ニッサン・キャラバン14人乗り（四輪駆動）を購入することで、児童生徒の登下校における安全性を向上させた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいる他の車両を更新していく必要がある。 ・学校の統廃合、児童生徒数の減少を精査しながら、適切な規模・台数を確保していく必要がある。 		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

基本施策3
実施施策

生涯学習・スポーツの振興

(1) 学びと実践が循環しつながりを出する生涯学習社会の形成

事業名	釜石市はたちのつどい開催事業	令和6年度 決算額	665,216円
担当課	まちづくり課		
目的	成人の日を記念し、若者の門出を祝うとともに、市民及び市に縁のある者としての自覚を促し、社会人としての権利と義務・責任を全うできるよう激励の意味を込めて式典を開催するもの。		
取組内容	<p>年度内に20歳となる人を主体とした実行委員会形式により、特色のあるつどいを実行委員が自ら創り上げ、門出を祝う式典を開催した。</p> <p>〔時期〕令和7年1月12日 14時～16時</p> <p>〔場所〕釜石市民ホール TETTO</p> <p>〔対象〕平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方</p> <p>〔参加者数〕376人（対象者201人、一般来場者109人、主催者7人、来賓30人、従事者29人）※マスコミ5社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典内で実行委員会制作のビデオメッセージ、中学校及び高校恩師からのビデオメッセージの上映、参加者有志による郷土芸能（虎舞）などを披露した ・釜石商工会議所青年部の協力を得てフォトスポットを2カ所に設置した ・釜石コンパスでの活動（対象者の高校時代の活動内容）を展示した ・対象者への記念品として、タンブラーを贈呈した（制作協力：NPO法人遠野まごころネット まごころ就労支援センター） ・茶道協会の協力により、茶席の設置を行った。 		
取組による成果と課題	<p>【成果】</p> <p>昨年に引き続き、ほぼ平時の開催となり、約8割の対象者が参加した。</p> <p>また、本年度も式典の対象となる参加者を委員とした実行委員会を組織し、式典内で実行委員制作によるビデオメッセージや中学校・高校時代の恩師ビデオメッセージの上映を行ったほか、参加者有志による郷土芸能の披露、市民憲章・防災市民憲章の唱和を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>釜石市国際外語大学校日本語学科の開設に伴い、外国人対象者の参加も増加してきていることから、今後も円滑な式典運営を心がけながら、毎年度組織する実行委員会と共に式典内容等の検討を行いたい。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	生涯学習によるまちづくり推進事業	令和6年度 決算額	78,929 円																				
担当課	まちづくり課																						
目的	市民と行政が共に釜石市の現状と課題、施策などを理解するとともに、主体的にまちづくりへの参画を促進するための意識の喚起、場を創出することが必要になることから、生涯学習に関する諸事業を実施するもの。																						
取組内容	<p>①こどもエコクラブ 自然の中でのさまざまな体験を通じて、自然環境への理解を深め、環境保全に配慮した行動をとることができる資質を育むことを目的に、小学生を対象に実施した。 〔登録会員数〕 小学生 43 人 〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6. 9 / 水辺の生物観察会 / 28 人 ・ 8. 1 / デイキャンプ / 33 人 ・ 民間企業出前講座 / 中止 ・ 9. 14 / トレジャーハント&「てっさん」VR体験 / 28 人 ・ 12. 14 / 海の生物観察会 / 23 人 ・ 3. 22 / 水辺の鳥観察会 / 16 人 <p>②立正大学デリバリーカレッジ 市民が生涯学習に関心を持ち実践するきっかけとなるよう「知的刺激と感動を得られる生涯学習」の機会を提供するため、開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6. 1 / アンチエイジングを目指す生き方と運動・スポーツ / 27 人 ・ 6. 8 / 誕生石のサイエンス / 21 人 ・ 6. 17 / 織田信長と現代日本-歴史社会学の立場から / 28 人 <p>③生涯学習まちづくり出前講座 生涯学習意識の高揚と学習機会の提供を図り、地域課題とその解決について考えることを目的として実施した。 <講座メニュー> 170 講座（市によるもの 84 講座、関係機関によるもの 22 団体 86 講座） <実施回数及び受講者数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>37 回</td> <td>44 回</td> <td>68 回</td> <td>69 回</td> <td>64 回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>629 人</td> <td>674 人</td> <td>1, 115 人</td> <td>1, 355 人</td> <td>1, 363 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>④生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行 生涯学習に関する情報を周知するため「広報かまいし」内に「まなびい釜石」のページを設け、年5回発行した。</p>					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	回数	37 回	44 回	68 回	69 回	64 回	人数	629 人	674 人	1, 115 人	1, 355 人	1, 363 人
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																		
回数	37 回	44 回	68 回	69 回	64 回																		
人数	629 人	674 人	1, 115 人	1, 355 人	1, 363 人																		

<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <p>①こどもエコクラブ 定員を超える参加申し込みがあり、毎回の出席率も高くなっていることから、この事業に対する関心の高さが伺える。今後も引き続き、環境に対して子どもたちが関心、興味を持てるような内容を継続して実施する。</p> <p>②立正大学デリバリーカレッジ 1日目を対面、2日目及び3日目をオンライン形式で開催した。 講座終了後に行ったアンケートでは、内容に満足しているとの回答が多かった。</p> <p>③生涯学習まちづくり出前講座 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数等が減少したものの、回復傾向にある。特に小中学校から、農業体験や総合的な学習の時間を活用した申し込みが増加しているほか、釜石市国際外語大学校での活用もあった。</p> <p>④生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行 「広報かまいし」内にページを確保することにより、全世帯への情報提供が可能となっており、継続して実施する。</p> <p>【課題】</p> <p>①こどもエコクラブ 講座内容によっては、小学校低学年と高学年に分けて説明するなど、分かりやすい説明にするなどの配慮が必要である。</p> <p>②立正大学デリバリーカレッジ 参加者のアンケート結果を考慮した講座内容の検討や、若年層にアプローチする周知方法などを検討していく。</p> <p>③生涯学習まちづくり出前講座 利用者が固定化されていることから、今後も事業周及び利用促進のための広報活動を継続していく必要がある。</p> <p>④生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行 「まなびい釜石」による情報提供に限定することなく、事業情報については、公民館だよりや市のホームページの活用を検討していく必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	教育振興運動協議会活動補助金	令和6年度 決算額	180,000円
担当課	まちづくり課		
目的	地域の教育力向上と、子どもたちの生涯にわたって学び続ける意欲・態度を育成し、併せて大人自らの生涯学習機会となる教育振興運動の推進のため、釜石市教育振興運動協議会が行う事業に要する経費に対して補助金を交付するもの。		
取組内容	<p>各実践区（中学校区）において、5者（子ども、保護者、学校、地域、行政）がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携して行う地域の教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力向上を図るため、情報提供や情報交換、実践活動への補助等を行った。</p> <p>〔活動内容〕 協議会総会、集約集会、各実践区による活動、教振だよりの発行など</p> <p>〔研修等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 6.6/オンライン開催/釜石市から1人 ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム 7.2/大船渡市立三陸公民館/釜石市から24人 ・教育振興運動60周年記念大会 1.14/県民会館大ホール/釜石市から28人 ・釜石市教育振興運動協議会集約集会（共催） ※大船渡市大規模森林火災の影響により中止 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 全ての各実践区において全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」に取り組んだ他、あいさつ運動や交通安全、復興教育など地域の実情に応じて多様な活動をすることができた。また、今年度の集約集会においては、関東より講師を招き、「早寝早起き朝ごはん」の重要性に係る講演をいただき、重点目標に掲げる子どもの生活リズム向上「RHYTHM（リズム）プラン」の推進を図ることができた。</p> <p>【課題】 各実践区での活動が固定化されつつあることから、今後も子どもを中心とした地域ぐるみの教育活動が継続的に実践できるよう、教育振興運動と地域学校協働活動の連携の在り方について模索していく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	放課後子ども教室推進事業	令和6年度 決算額	3,122,486 円
担当課	まちづくり課		
目的	子どもたちが安心して遊び学ぶことのできる教育環境を確保するため、放課後における子どもの活動拠点を設け、地域住民等の参画を得て、自由遊びの見守りのほか、多様な学習機会を提供するもの。		
取組内容	<p>〔時期〕 通年 〔対象〕 子ども、地域住民 〔教室名／場所／実施日〕</p> <p>①ばしょまえ交流館／釜石公民館／週2回（釜石小学校区） ②ふたば放課後子供教室／双葉小学校地域連携室／週1回（双葉小学校区） ③小佐野放課後ひろば／小佐野公民館／隔週1回（小佐野小学校区） ④平田 MOSICA／平田復興住宅集会室／週1回（平田小学校区） ⑤かっしっこひろば／甲子公民館／週1回（甲子小学校区） ⑥鶴住居子どもひろば／日向・新川原集会所、砂子畑集会所等 ／週3回（鶴住居・栗林小学校区） 〔1回あたりの子どもの参加人数〕 13.7人</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 令和6年度から「ふたば放課後子供教室」が再開されたこともあり、放課後子ども教室1回あたりの子どもの参加人数は増加傾向にあり、また、協働活動支援員の各校への周知等により、放課後子ども教室への理解浸透が図られている。</p> <p>【課題】 子どもの活動の見守りや学習サポートを行う協働活動サポーター（安全管理員）の確保が十分にできず、実施回数が十分に確保できない教室もあることから、様々な機会を活用し、放課後子ども教室の実施を周知するとともに、安全管理員の募集を行うことにより、活動のさらなる展開を図りたい。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	地域学校協働活動体制推進事業	令和6年度 決算額	4,027,242 円
担当課	まちづくり課		
目的	地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制（地域学校協働本部）を設置し、地域コーディネーター配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行うもの。		
取組内容	<p>[本部設置校] 釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、鶴住居小学校、栗林小学校、唐丹小学校</p> <p>[活動回数] 9校 1,031回 [地域住民等の参画人数] 9校 延べ6,240人 [研修等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 6.6/オンライン開催/釜石市から1人 ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム/ 7.2/大船渡市立三陸公民館/釜石市から24人 ・学校と地域の連携・協働研修会 8.9/県立生涯学習推進センター/釜石市から2人 ・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修地区別講座 10.3/大船渡市立三陸公民館/釜石市から7人 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 令和4年度より市内全学区に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が設置されたことに併せ、地域学校協働本部を市内小学校9校に設置するに至った。 活動参画者数に変動はあるものの、活動回数は増加傾向にあり、地域コーディネーターの連絡調整等によって、各本部で子どもたちに多様な学習機会を提供することができた。</p> <p>【課題】 地域コーディネーターを確保できず、地域学校協働本部の設置に至らない学校があった。また、本部設置校においても活動内容等に差がある。地域コーディネーターの確保や地域コーディネーター同士の情報交換等を行うことにより、地域学校協働活動のさらなる推進を図りたい。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	図書館管理運営費	令和6年度 決算額	19,393,702 円																				
担当課	まちづくり課図書館																						
目的	市民の生涯学習の拠点として、読書活動の推進を図ることを目的に、図書資料の充実・整備や各種の図書館サービスの提供に努めるほか、図書館施設の適切な維持管理を行うもの。																						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望や地域の実情に考慮しながら、図書資料の整備に努めた。 ・利用者の学習活動を支援するため、図書展・企画展・巡回展を開催したほか、図書館報の発行や手づくり絵本教室を開催した。 ・多様な学習機会の創出として、市民教養講座や戦争の朗読会を開催した。 ・幼児から児童向けには、こどもまつりやクリスマス会、としょかん映画会やおはなし広場を開催した。 ・移動図書館車の正確な運行及び絵本カーによる訪問のほか、市内小学校等への団体貸出を実施した。 ・図書館施設の適正な管理として、各種の館内修繕や館外樹木剪定の実施など環境整備に努めた。 <p>【利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用人数（人）</td> <td>20,584</td> <td>20,794</td> <td>20,136</td> <td>20,796</td> <td>21,436</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数（冊）</td> <td>79,886</td> <td>82,389</td> <td>77,338</td> <td>80,364</td> <td>84,349</td> </tr> </tbody> </table>					年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	利用人数（人）	20,584	20,794	20,136	20,796	21,436	貸出冊数（冊）	79,886	82,389	77,338	80,364	84,349
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																		
利用人数（人）	20,584	20,794	20,136	20,796	21,436																		
貸出冊数（冊）	79,886	82,389	77,338	80,364	84,349																		
取組による成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の利用人数及び貸出冊数は令和5年度時と比較して増加し、直近5年間で最高の値となった。インターネットによる図書予約の件数も増加しており、利用者の利便性の向上が成果として現れている。 ・社会の変化及び地域の実情を反映した図書展の開催や、自主グループや関係団体と連携して各種イベント等を実施するなど、図書館に対する市民の理解と関心も深まっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13歳から22歳までの貸出人数が他の世代と比較して低いため、中高生向けの図書の充実や若者への図書館サービスの周知が課題である。 																						
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																						

事業名	ブックスタート整備充実事業	令和6年度 決算額	148,178 円
担当課	まちづくり課図書館		
目的	赤ちゃんと保護者が、絵本を介して向き合い、あたたかくて楽しいことばの交流を持つことができるよう、ブックスタート活動を行うもの		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市健康推進課が行う離乳食指導「もぐもぐごっくん教室」(生後5~6ヵ月児対象)に併せて、ブックスタート事業を実施した。図書館が「赤ちゃんの駅」認定施設であることを説明し、ブックスタートガイドブックと図書館利用案内の配布を行った後、ボランティア団体「颯・2000」による乳幼児向けの絵本の紹介を兼ねた読み聞かせの実演を行った。(12回、乳児47人) ・市健康推進課が行う「6ヵ月児健診」に併せて、ブックスタート事業を実施した。6ヵ月児健診の赤ちゃんに絵本1冊を贈呈した。(12回、乳児116人) ・図書館内のブックスタートコーナー脇に子育てに関するパンフレットやチラシを配置しているほか、昨年新装した床マットも含めて、子育て世代に配慮した環境づくりに努めた。 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場内で読み聞かせの実演を行うことで、幼児が本や読み聞かせに興味を持っていただく機会となっており、参加した保護者にも好評である。 ・ブックスタート事業に参加した親子は、その後、図書館内のブックスタートコーナーの利用を目的に、ベビーカーで来館される機会も多く、図書館の利用者増に反映されると同時に、子どもの教育支援にも貢献することができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ブックスタート」という活動の認知度が低いため、更なる啓蒙と普及活動が必要である。 		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

基本施策 3
実施施策

生涯学習・スポーツの振興

(2) 豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進

事業名	学校体育施設開放事業	令和 6 年度 決算額	789,360 円	
担当課	教育委員会事務局総務課			
目的	地域住民のスポーツ活動等の場の確保を図るため、学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放するもの。			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開放校 12 校（釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、栗林小学校、釜石中学校、甲子中学校、釜石東中学校、唐丹中学校、大平中学校） ・利用団体及び利用人数（延べ人数） 			
	年 度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	利用団体数	831 団体	823 団体	820 団体
	利用者数	38,392 人	37,155 人	38,832 人
取組による 成果と課題	<p>【成果】 開放校との連携・協力により市民がスポーツ活動等に気軽に取り組める場所や機会を広く提供することができた。今後も本事業の目的を達成できるよう実施していく。</p> <p>【課題】 一部利用団体が施設破損を報告しないなど、施設使用に関してのマナー違反が見られるので、注意喚起していきたい。</p>			
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)			

基本施策 4
実施施策

歴史・文化・芸術文化の振興

(1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

事業名	埋蔵文化財保存事業	令和 6 年度 決算額	7,134,451 円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	埋蔵文化財の適切な保護・保存・活用に向けた調査を実施するもの。		
取組内容	<p>市内各地の各種開発が遅滞なく進むよう、開発行為に伴う試掘調査や立会調査を実施した。分布調査については、平成 13 年度から市内の遺跡の詳細分布調査を継続実施し、平成 20 年度からは市内の遺跡を時代別に分けて分布調査を実施し、遺跡の内容把握に努めている。</p> <p>令和 5 年度からは、5 か年計画で市内全遺跡の現状把握を実施しており、令和 6 年度は甲子町小川地区周辺と箱崎地区大沢遺跡周辺で分布調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財照会：57 件 (67 ヶ所) ・試掘調査：1 件 ブロイラー飼育養鶏施設建設予定地確認調査 令和 6 年 9 月 3 日・4 日 ・立会調査：4 件 金子沢遺跡、上小川遺跡、ムケ畑遺跡、地獄沢遺跡 ・慎重工事：13 件 ・分布調査：小浜遺跡隣接地・オオサ沢遺跡隣接地、大沢貝塚隣接地 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度の埋蔵文化財の分布調査及び試掘調査、立会調査等の調査業務は滞りなく終了した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、風水害の影響で女坂の一里塚や石塚峠の七里塚、平田塚群などといった地上に露出する遺跡の損傷が懸念されるため、保存方法を検討する必要がある。 		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	文化財保護事業	令和6年度 決算額	1,454,977 円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	釜石市に所在する文化財の適正な保護と活用を図るもの。		
取組内容	<p>文化財の適正な保護・活用を図るため、釜石市文化財保護審議会を開催するとともに、市文化財指定を行った。また、市内文化財の保存・周知を図るため、文化財パトロールや説明板の作成・整備等を行った。</p> <p>○釜石市文化財保護審議会の開催 3回 (6月、10月、2月)</p> <p>○文化財パトロール(文化財保護審議会)</p> <p>橋野町新規発見のシナノキ(2回)、女遊部のトチノキ調査、唐丹町 新道峠(通称：清水峠) 庚申塔</p> <p>○文化財調査</p> <p>戦跡調査(薬師公園等)、古民家調査(橋野町中村)、御箱崎の千畳敷調査、甲子川餅鉄分布調査、三浦命助関係文書調査(2回)、佐々木家聞き取り調査(根浜)、児島大梅の碑調査、大沢川流域の化石産出露頭群調査</p> <p>○文化財指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財：新道峠(通称：清水峠)の庚申塔 ・指定年月日：令和7年3月26日 ・所在地：唐丹町 <p>○案内看板等の整備</p> <p>屋形遺跡(案内看板)・大沢川流域の古生界化石産出露頭群(案内看板1基・標柱3基の設置)・文化財マップ(案内看板)</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新道峠(通称：清水峠)の庚申塔」が新たに市指定文化財となった。 ・文化財パトロールでは指定文化財候補物件や文化財の現況を確認した。 ・文化財案内看板の新設や既存の看板の更新作業を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化遺産の評価方法を検討する必要がある。 ・老朽化した看板や標柱が多く更新が必要な状態にある。 		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	有形文化財公開事業	令和6年度 決算額	769,614 円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	郷土釜石をテーマとした展示会・講演会の開催を通じて、地域文化の発掘・顕彰を図り、郷土の先人の業績を讃えるとともに、貴重な文化財に触れ郷土愛を育む。		
取組内容	<p>①第20回有形文化財公開事業『かまいしの歴史文化 5つのストーリー』展</p> <p>(1) 展示日時 令和7年2月1・2日 9時30分～16時00分</p> <p>(2) 展示場所 釜石市民ホール TETTO ホールB</p> <p>(3) 来場者数 320人(内訳：2月1日 70人、2月2日 250人)</p> <p>②記念講演</p> <p>(1) 開催日時 令和7年2月2日 10時30分～12時00分</p> <p>(2) 開催場所 釜石PIT</p> <p>(3) 講演会演題 「歴史文化をいかし未来をつくるまち 釜石」をめざして</p> <p>(4) 講演会講師 盛岡大学名誉教授 熊谷常正氏</p> <p>(5) 来場者数 80人</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隔年で開催される事業ということもあり、2日間で320人の来場者は良い結果と考えられる。 ・来場者アンケートでは、「2日間の開催でもったいない」、「釜石にも多くの歴史文化があることを知ることができて有意義であった」といった高い評価が目立った。 ・熊谷先生の講演会は、会場が手狭に感じられるほどの来場者であった。来場者アンケートでは、「一番の講演会でした。またお聞きしたい」、「とても分かりやすかった」、「文化財が身近な存在であることが良く分かった」と高い評価を得ている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財を安全に公開できる場所を確保できれば、期間を長く設定することができるが現状では難しいと考えられる。 ・今後も継続的に講演会を開催するように検討したい。 		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	歴史はっけん事業	令和6年度 決算額	1,479,562 円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	<p>釜石の歴史文化の保存・活用を図るため、市内に埋もれた歴史や文化財を再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに、まちづくりに活用する。また、これらを計画的に進めるため、釜石市文化財保存活用地域計画の作成を目指すもの。</p>		
取組内容	<p>釜石市文化財保存活用地域計画(素案)を文化庁に提出し、令和6年7月19日に文化庁長官から認定を受けた。</p> <p>また、市内文化財の調査及び文化財目録の作成、古文書調査等も併せて行った。</p> <p>○「釜石市文化財保存活用地域計画」の文化庁長官による法定認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定日：令和6年7月19日 ※文化財保護法第183条の3第1項の規定に基づく法定計画 <p>○「釜石市文化財保存活用地域計画」に係る冊子の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石市文化財保存活用地域計画(データ作成・冊子300部) ・釜石市文化財保存活用地域計画【参考資料編】(データ作成・冊子300部) ・釜石市文化財保存活用地域計画【概要版】(データ作成・冊子1,000部) <p>○古文書調査</p> <p>時期：通年</p> <p>内容：野田家文書デジタルアーカイブ化作業</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「釜石市文化財保存活用地域計画」は当市における文化財等の保存・活用に関するマスタープラン兼アクションプランであり、目指すべき将来的なビジョンや具体的な事業等の推進が可能となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石市の文化財等を保存・活用するうえで、調査に偏りがあることから、調査を計画的に継続して行う必要がある。 ・調査を実施するためには、情報収集や専門的知識が必要となることから、市民からの協力を得るとともに、大学や博物館といった学術研究機関との相互協力体制を強化する必要がある。 		
評価結果	<p>■ 拡充(継続) □ 現状継続 □ 縮小(継続) □ 廃止(完了含む)</p>		

事業名	鉄づくり体験事業	令和6年度 決算額	2,000,000 円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	鉄に関する歴史や技術を学ぶため、鉄づくり体験等を通して郷土への関心を高め、アイデンティティの醸成に寄与するもの。		
取組内容	<p>○鉄づくり体験：(実施期間7月～9月。市内全中学校1年生)</p> <p>洋式高炉を模したミニ炉を作成し、たたら製鐵の技法で鉄づくりに取り組んでいる。市内の子どもたちが、義務教育の間に1度は鉄を通じたモノづくりの機会に触れる機会を創出するため、令和4年度から市内中学一年生を対象に全中学校5校で実施している。</p> <p>・釜石東中学校31人、釜石中学校92人、大平中学校34人、甲子中学校40人、唐丹中学校12人</p> <p>○鉄に関する座学等(中学1年生)</p> <p>市内各小中校の要望により、世界遺産室と協力して座学や見学(体験)などを実施した。(甲子中学校、釜石東中学校、釜石中学校、唐丹中学校)</p> <p>○鉄の検定</p> <p>小中学生を対象として、近代製鉄発祥の地である「釜石」の生活に身近な鉄に関する疑問や、鉄の魅力などを、検定形式で周知し郷土釜石を知るきっかけを作るため実施した。</p> <p>開催日：12月1日の前後一週間</p> <p>参加者：双葉小学校：6年生(2名)、平田小学校：5年生(2名) 釜石中学校：3年生(2名)、1年生(92名)</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>学習の成果を発表する場として実施した鉄の検定では、18名が優秀な成績を修めた。</p> <p>また、鉄づくり体験ではモノづくりの大切さや鉄の歴史を学ぶとともに、次世代リーダーの育成が図られた。</p> <p>鉄の検定結果：《1級》：小学生2名、中学生2名 《2級》：小学生2名、中学生12名</p> <p>【課題】</p> <p>鉄に関する体験や学習を継続して実施し、より効果的で効率的な郷土学習の在り方と実施の体制を整備していく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	鉄のふるさと釜石創造事業	令和6年度 決算額	359,400円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	鉄に関する地域資源を活かした取り組みを継続的に実施し、釜石の鉄を中心としたものづくり産業に関する歴史及び文化等を情報発信しながら地域の再生を図る。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄のふるさと釜石創造事業実行委員会の開催 ・『かまいしの鐵學』第3号の発行 ・鉄の学習発表会の開催 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 鉄の学習発表会を海と希望の学園祭と連携させたことで、大学関係者等にも傍聴してもらう機会ができた。</p> <p>【課題】 鉄のふるさと釜石創造事業実行委員会の活動が、市役所事業の主体となってきた。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	屋形貝塚保存活用事業	令和 6 年度 決算額	7,082,218 円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	国史跡屋形遺跡を保存・保護・活用し、郷土教育の充実化を図る。		
取組内容	<p>屋形遺跡を学びの場として活用するため、出前講座や見学会等を実施した。</p> <p>平成 27 年の発掘調査で出土した遺物の貝塚土壌洗浄作業など、遺物の整理作業を実施した。</p> <p>屋形遺跡の史跡整備を進めるため史跡保存活用計画を策定の準備を行った。</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学看板の設置や景観にそぐわない害獣対策網の撤去を実施した。 ・洗浄した貝層から、釣り針片や骨ベラ片などが発見された。 <p>【課題】</p> <p>令和 6 年度は調整不足により見学等の活用が振るわなかった。地元の唐丹小中学校をはじめ、周知活動を行い、活用につなげられるようにする。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	郷土資料館管理運営費	令和6年度 決算額	2,142,488 円												
担当課	文化振興課(現：文化財課)														
目的	地域文化を継承するための貴重な文化資料を保管・展示し市民に公開することで、文化との触れ合いの場の提供し、生涯学習の高揚に資することを目的とする。														
取組内容	<p>○企画展の開催(5回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月人形展 4月29日～6月8日 来館者数 165人 ・艦砲戦災展 7月12日～9月8日 来館者数 466人 ・鉄の週間事業「釜石の鉄人(スポーツマン)」 11月28日～1月26日 来館者数 251人 ・正月、小正月行事 1月5日～1月31日 来館者数 190人 ・雛人形展 2月20日～3月31日 来館者数 136人 <p>○かまいし歴史学講座開催 12月4日 来場者 30人</p> <p>○運営委員会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月及び12月に運営委員会を開催するとともに、10月に視察研修を行った。(昭和の学校(花巻市)、遠野市立博物館) <p>○収蔵資料の保存・管理と活用、及び新規資料収集に努めた。(通年)</p> <p>【入館者の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館者数(人)</td> <td>2,004</td> <td>1,981</td> <td>2,057</td> <td>2,386</td> <td>2,011</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	入館者数(人)	2,004	1,981	2,057	2,386	2,011
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度										
入館者数(人)	2,004	1,981	2,057	2,386	2,011										
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展等の開催は収蔵資料の活用となり、企画展来館者にはそれ以外の釜石の歴史・文化に触れる契機となっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業及び資料館自体の周知がまだ不足していることから、報道機関との連携や運営委員の協力をはじめ、有効な周知手段が必要。 ・寄贈資料の増加に伴う、収蔵庫の慢性的容量不足の解決が求められている。 														
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)														

基本施策 4
実施施策

歴史・文化・芸術文化の振興

(2) 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

事業名	橋野高炉跡整備・修復・公開活用事業	令和 6 年度 決算額	33,732,873 円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	平成 27 年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、平成 30 年 3 月に策定した「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、調査し、理解増進を図っていくとともに、来訪者に安全で快適な見学環境を提供していくため史跡整備するものである。		
取組内容	橋野高炉跡史跡整備検討委員会の意見集約をもとに、橋野高炉跡整備事業と橋野高炉跡修復・公開活用事業を実施している。 前者においては橋野高炉跡の範囲内容確認調査を実施した。令和 6 年度は野外調査として三番高炉ブロック長屋跡(南)の発掘調査、及び長屋跡(中央)の試掘調査、三番高炉北側の補足調査(仮高炉調査)、採掘場跡北側の火薬庫の測量、室内整理として出土遺物の保存処理、出土遺物の科学分析等報告書作成に向けた作業を実施した。 後者では令和 6 年度は見学路・遺構表示整備の実施設計を行った。		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>○整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査の結果、高炉絵巻に描かれたと考えられる長屋跡を確認した。 ・現地説明会や速報展などで史跡の重要性や調査の意義を広く周知した。 <p>○修復・公開活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺産の価値を損なうことなく、来訪者に安全快適な見学環境を提供するための見学路・遺構表示整備実施設計が作成できた。 <p>【課題】</p> <p>○整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁の補助事業費採択率が約 1/2 のため、計画に遅れが生じている。 <p>○修復・公開活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東側が傾斜地となっていることから、雨水対策等に予想以上の経費がかかることが予想される。 		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	旧釜石鉱山事務所維持管理費	令和6年度 決算額	1,584,728 円														
担当課	文化振興課(現：文化財課)																
目的	国登録有形文化財の旧釜石鉱山事務所の適切な維持管理を行うもの。																
取組内容	<p>施設の適切な管理運営を行ったほか、イベント及び企画展を開催した。</p> <p>《事業内容》</p> <p>○旧釜石鉱山事務所国登録有形文化財登録10周年記念事業 釜石鉱山を体感しよう!! (期間) 令和6年4月6日～5月13日 (内容) 令和5年度に旧釜石鉱山事務所国登録有形文化財登録10周年記念事業として実施してきた成果を広く公開した。</p> <p>①旧釜石鉱山事務所愛称発表(4月6日10時オープニングセレモニーにて)</p> <p>②釜石鉱山坑道VR・旧釜石鉱山事務所VR</p> <p>③予察地質図東北部(ナウマンの地質図)実物とレプリカを並べて公開</p> <p>④大橋社宅デジタルアーカイブ</p> <p>⑤釜石鉱山フォトコンテスト展(期間中見学者)337人</p> <p>○夏休み特別企画「鉱山(やま)の宝探し」(鉱石採集イベント) 岩石の種類を学ぶとともに標本箱を作った。 (開催日)7月27日(参加者)17人</p> <p>○鉄の週間企画展「鉱山の鉄道」 釜石鉱山の専用鉄道について資料やパネルで紹介 (期間)令和6年11月22日～12月8日(期間中入館者)117人</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>949人</td> <td>789人</td> <td>1,150人</td> <td>1,277人</td> <td>1,718人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	人数	949人	789人	1,150人	1,277人	1,718人
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度												
人数	949人	789人	1,150人	1,277人	1,718人												
取組による 成果と課題	<p>【成果】 登録有形文化財登録10周年企画では多くのメディアに取り上げられ、来館者数の増加につながった。</p> <p>【課題】 建物の老朽化、設備の故障が多くなってきていることが課題</p>																
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																

事業名	橋野鉄鉱山事業	令和6年度 決算額	5,523,313 円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	橋野鉄鉱山の訪問者に安全で快適な見学環境を提供するため、維持管理を行うとともに、広く周知していくための事業を展開していく		
取組内容	<p>観光ガイド委託及び周辺環境整備委託を行うとともに、各種事業を実施した。</p> <p>○缶バッチプロジェクト (内 容) 市内歴史文化施設(5か所)の周遊を促すためオリジナル缶バッチを頒布(有償)</p> <p>①令和6年4月27日～29日・5月3日～6日 44個 ②令和6年8月10日～18日 45個</p> <p>○『餅鉄で鉄瓶を作ろう』①【参加者】21人 (開催日) 令和6年5月25日 (内 容) 餅鉄についての講演及び餅鉄採集(沢松川にて)</p> <p>○『餅鉄で鉄瓶を作ろう』②【参加者】8人 (開催日) 令和6年9月29日・10月6日 (内 容) 餅鉄を原料に製鉄体験を実施</p> <p>○みんなの橋野鉄鉱山 【参加者】20名 (開催日) 令和6年6月8日 (開催場所) 史跡橋野高炉跡及び橋野鉄鉱山インフォメーションセンター (内 容) ①清掃活動(10時～11時) 二番高炉ブロックの水路の清掃 三番高炉ブロック北側の倒木の処理 ②記念講演(11時～12時) 演題：転機1894—橋野鉄鉱山から栗橋分工場へ 講師 文化振興課世界遺産室 森 一欽</p> <p>○橋野鉄鉱山見学会 令和6年7月20日 【参加者】5名</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 餅鉄に因んだ事業を新たに新設し、採集においては多くの参加者があった。</p> <p>【課題】 事業多過にならないよう調整が必要</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	橋野鉄鉱山インフォメーション共通展示整備事業	令和6年度 決算額	3,465,000 円
担当課	文化振興課(現：文化財課)		
目的	橋野鉄鉱山インフォメーションセンターへユネスコ勧告にある共通展示システムを導入するとともに、登録以降の新知見を踏まえつつ、パネルの多言語化等を図る。		
取組内容	橋野鉄鉱山インフォメーションセンターへの世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の共通展示導入と既存パネルのリニューアルの実施設計を行った。		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 施設の充実が期待される設計案を作成できた。</p> <p>【課題】 インフォメーションセンター閉所後にリニューアルを実施する予定のため、積雪により、工事が遅延する可能性があることが課題</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	橋野鉄鉦山インフォメーションセンター維持管理費	令和6年度 決算額	5,991,491 円			
担当課	文化振興課(現：文化財課)					
目的	橋野鉄鉦山及び世界遺産「明治日本の産業革命遺産」を紹介する施設として平成25年度に開所した。訪問者に安全で快適な見学環境を提供するため、維持管理を行うもの。					
取組内容	管理委託(橋野町振興協議会) 仮設トイレの設置 など					
	【来館者の状況】					
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	人数	5,542	5,263	6,219	7,319	5,982
取組による 成果と課題	<p>【成果】 地元の方々と協力しながら運営し、訪問者に安全で快適な見学環境を提供することができた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笛吹峠周辺の県道工事の影響により、昨年度は来館者が少なかった。 ・ インフォメーションセンターの水道は平成28年台風10号の影響で井戸水となっているが、近年水量が減ってきている傾向がある。 					
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)					

事業名	鉄の歴史館管理運営費	令和6年度	28,595,472円														
担当課	文化振興課(現：文化財課)	決算額															
目的	<p>鉄の歴史館は、釜石の歴史と文化をわかりやすく紹介するために、昭和60年に開館し、平成6年に増築された施設である。</p> <p>訪問者の鉄の歴史への理解増進と安全で快適な見学環境を提供することを目的とし、老朽化への対処を行いながら維持管理をしていくもの。</p>																
取組内容	<p>施設の適切な管理運営を行ったほか、イベント及び企画展を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季企画展 『明治日本の産業革命遺産フォトコンテスト作品展』 (開催期間) 令和6年7月12日～9月2日 (内容) 明治日本の産業革命遺産フォトコンテストの作品のうち、最優秀賞、優秀賞、エリア賞受賞作品、橋野鉄鉱山関連作品 (来場者数) 1,993人 ・鉄の週間企画展『1894 転機—日本近代製鉄の新たなステージ—』 (開催期間) 令和6年11月22日～令和7年1月13日 (内容) 橋野鉄鉱山、栗橋分工場、コークス高炉に関連する資料及びパネルを展示した。なお、パンフレットについては旧釜石鉄山展示室の企画展と併せて作成した。 (期間中来場者数) 805人 ・県指定50周年紙本両鉄鉱山御山内高炉之図の公開 (開催期間) 令和6年11月30日・12月1日 (内容) 県指定50周年となる紙本両鉄鉱山御山内高炉之図を公開した。 ・エレベーターの改修設計の実施 <p>【入館者の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>8,053人</td> <td>8,073人</td> <td>10,018人</td> <td>9,892人</td> <td>9,523人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	人数	8,053人	8,073人	10,018人	9,892人	9,523人
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度												
人数	8,053人	8,073人	10,018人	9,892人	9,523人												
取組による成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄の週間企画展では、日本製鉄(株)の協力でコークスについて新たな知見が発見された。あわせて、新たにコークスについてのパネルを増設できた。 ・消防法基準への適応を前提とし、経費及びスケジュールを勘案した設計を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々来館者が減少しており、広報力の強化、他の歴史文化施設との連携事業の強化が必要である。 ・鉄の歴史館空調設備、外壁改修、トイレ改修など多くの改修事業があることから、経費及びスケジュールの調整が必要である。 																
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																

「令和6年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書」 学識経験者からの意見聴取会意見（要点）

学識経験者からの意見聴取会を開催し、教育委員会が取りまとめた点検・評価調書に基づき、4つの基本施策、その施策に係る6つの取り組み項目について、自己評価の妥当性及び今後の教育施策の推進に向けて御意見をいただいた。

1 開催日時 令和7年7月31日（木）13時30分から15時40分まで

2 会 場 市役所第4庁舎3階 教育委員会 会議室

3 委 員 谷澤 栄一さん（釜石まちづくり株式会社代表取締役）
山崎 鮎子さん（音楽家）
鈴木 崇さん（釜石市児童館館長）
菊池 錬城さん（釜石市PTA連合会会長）

4 意見の聴取方法

担当課においてあらかじめ事業の自己評価を行い、二次評価として学識経験者から評価の妥当性について判断していただいた。

5 意見の概要

基本施策1 未来を担う子どもたちの育成
(1)生きる力を育む学校教育の充実

主な意見	<p>○外国語指導助手設置事業</p> <p>・外国語指導助手の増員が困難であれば、英語専科の先生の配置の検討や、小中一貫校を目指すのであれば、小中連携し、中学校の英語教員が小学校5、6年生の授業をみるなど、柔軟な体制をとって英語力の向上を図ることも方法のひとつではないか。</p> <p>○教育研究事業</p> <p>・素晴らしい内容だと思う。先生方が全体で集まり、授業を教える時に困っていること、うまくいっていること、うまくいかないことを話せる機会を設け、「これだったら子どもたちがわかりやすい」、「このやり方ではだめ」というようなことを研究する実践的な場になり、先生方のノウハウが出せるような場にしていきたい。</p> <p>・教育の質の向上は授業力の向上ということを考えれば、個々の先生方が複数年かけて積み上げてきたものを皆で見せ合って学ぶ学校公開は大きな意味があったと思う。</p> <p>今後小中連携交流会の実施をするのであれば、その時だけにならないように本気度をもってお互いに連携を図っていただきたい。更に良くするために、学校公開に代わる、質の向上を図れるような小中連携を図っていただきたい。</p> <p>・特に中学校では、各教科の先生が少ないために教科部会が成立しなくなっている。小中連携により、ひとつの教科について複数の教員で協議することができるので、今後の指導づくりに活かすことができる。</p> <p>○釜石市学校文化体育振興会運営費補助金</p> <p>・市内、市外、県外の大会等に参加して活躍の場を広げてほしいので、そのための支援が必要だと思う。</p> <p>「学校を越えて合同で部活動を実施する種目が増えている」と記載があるが、</p>
------	--

	<p>どの程度やられているのか。保護者の方の不満や不安は、好きな部活ができないこと、部活動がどんどん縮小して思うような活動ができないところであり、大きな課題である。中学校統合を目指していくときに、部活動は子どもたちや保護者にとって大きな要素になるので、統合してからではなく、統合以前に、部活を学校の枠を外して取り組めるような体制ができないか。そうすれば部活で一緒に交流している子どもたちが落ち着いた状態で新しい学校でスタートできる。入りたかった部活が今の学校にはなくても、部活動の場を広げることによって交流が広がるのではないか。予算や指導者などの問題があると思うが、それも踏まえて部活動の合同実施を検討していただきたい。</p> <p>○英検受験料補助事業 ・補助は英語検定に限ってなのか。例えば、数検や漢検などほかの分野で得意な生徒もいると思う。</p> <p>○放課後学習支援員配置事業 ・非常に成果を上げていることが調書から読み取れる。現状継続でよいが、拡充に向けた予算措置をお願いしたい。塾に通えない子どもなど、放課後に教えてもらったことで勉強の意欲やモチベーションが上がるということが確実に起きていると感じた。今期の様子をみて良かったら、今後予算を増額して全体をレベルアップさせてもらうことを希望する。</p>
--	--

基本施策2

子どもを育む環境づくり

- (1)地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進
- (2)教育環境の充実とさらなる向上

<p>主な意見</p>	<p>○教育広報発行事業 ・教育委員会の取組や児童生徒の活動内容を知る意味でとても大事である。「主な掲載記事」のうち、「ラグビーのまち釜石」とあるが、このことについて、「ラグビーのまち」と検索すると、府中・熊谷・深谷が出てくる。この3つのまちの共通点を見ると、少年少女の育成に重点を置いており、小学生を含めてまち全体を盛り上げている。釜石もV7の時代があり、鶴住居復興スタジアム、ラグビーワールドカップの開催、市の総合計画にも掲載されている。今後もラグビーのまちとしてやっていくには、少年少女への普及活動が不可欠ではないか。教育委員会も学校の授業などで（タグ）ラグビーの活動の啓蒙を図り、ラグビーのまちを自信を持って標榜できるようにしていただきたい。</p> <p>○かまいし絆会議運営事業 ・課題に「市内の小中学生全員が会議のメンバーの一員であることの意識の低下がみられる。全員が当事者であるという意識づけを行うこととする。」とある。参加している児童生徒は頑張り、意欲的にやられていると思うが、その会議の場だけでその人たちをリーダーとして育てることが目的なのか。会議の結果を学校にフィードバックして、ほかの子どもたちに意識づけするという過程が抜けているのではないか。参加した児童だけは伸びると思うが、ほかの子どもたちにフィードバックする流れをつくっていけないか。全部は無理でも、参加した生徒が1つでも自分が感じた熱のあるものを伝えられる機会となってほしい。</p> <p>○学校給食センター運営費 ・物価高騰により非常にご苦労されていると思う。白衣のクリーニングについ</p>
-------------	---

	<p>て、他の市町村では自宅に持ち帰って洗濯しているところもある。これは給食費等に影響しているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白衣クリーニングの公費負担はありがたいことで、家庭で洗濯すると匂いなど様々な問題がある。また、釜石市では箸を貸していただけるので、忘れた時の学校の負担も軽減されていると思うので、今後も継続をお願いしたい。 <p>○学校規模適正化・適正配置の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討するメンバーに教育委員会側や学識経験者、PTAのほか、統合する時に子どもが小学校や中学校に入るような、これからPTAになり得る人やお子さんがいる方々などにぜひ入っていただいて、本音のお話をさせていただくことで取り組みを進めやすくなるのではないかと。 <p>○学校適応支援員配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「別室登校の児童生徒は増加傾向にある。」とあるが、収入が少ないとか、ひとり親家庭で、子どもたちが様々な家庭環境の中で大変な思いをしているという状況もあると思う。教育委員会だけで抱える話ではなく、所管側も含めた総釜石で、根にある問題をどうやって共有していくかが1番大切だ。 ・支援員のことを知らない保護者もいる。特別支援やこころのケア、学校適応支援の3つの人的支援について、学校内だけではなく、家庭にも情報提供をしていただきたい。 <p>○特別支援教育支援員配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に「増員するには予算の確保が必要」とあるが、支援員になる人はいるのか。いろんな生徒が教室にいて大変だという話を聞く。生徒に手が届くようになればよいと思う。 <p>○こころのケア事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンセラーになかなかつながらないという声も聞く。いつ来校しているのか、どういうふうにつながっていくのか、保護者側が知らないことが多い。関わり方を知ることができるようにしていただきたい。
--	--

基本施策3 生涯学習・スポーツの振興

- (1) 学びと実践が循環しつながりをつくり出す生涯学習社会の形成
- (2) 豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進

<p>主な意見</p>	<p>○放課後子ども教室推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後の子どもたちの居場所づくりの観点から非常に重要である。ただ、双葉小区には上中島児童館、学童、放課後子ども教室があり、イベントの内容的にも被ることも多い。それぞれがやるのではなくて、児童館・学童・放課後子ども教室とうまく連携が図れれば参加者が増加するのではないかと。 <p>○学校体育館施設開放事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お盆期間中は利用できないのだろうか。誰もいなくて借りられるのに利用できないのかという相談が寄せられたことがある。
-------------	---

基本施策4 歴史・文化・芸術文化の振興

(1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

(2) 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

主な意見	<p>○文化財保護事業</p> <ul style="list-style-type: none">・遺跡の杭について、昭和時代からのもので腐ってなくなったためにどうしていいかわからないでいる。遺跡があることを調べる方法や、目印になるようなものを再設置していただきたい。 <p>○鉄づくり体験事業</p> <ul style="list-style-type: none">・釜石 DMC が、ものづくり、企業体験を実施した際、生徒全員が釜石製鉄所の構内見学をして、そのあとそれぞれの体験にうつるといふ企画を実施している。子どもたちが必ず1回は製鉄所の構内を見て、また、橋野にも行き、さらに釜石にはラグビーがあるということを知り、子供たちが誇りを持つような、座学ではなく現場で行って体験できるものを検討していただきたい。 <p>○郷土資料館管理運営費</p> <p>○旧釜石鉱山事務所維持管理費</p> <ul style="list-style-type: none">・鉱山事務所や鉄の歴史館には SNS アカウントがあるか。来場者数が多くなると SNS 戦略というのも有効ではないか。 <p>○全体について</p> <ul style="list-style-type: none">・文化財や世界遺産について、登録されたことは分かるが、例えば鉄づくり体験事業は児童生徒向けで理解しやすい。イベントを PR するときに、講演会だけではなく、親子で体験できる内容もあると参加しやすいのではないかと。うまく PR して、市民の皆さん、年配の方にもみていただけるようにしては。参加者の裾野を広げるための案を考えていただきたい。・ポスターがあっても難しそうだと感じることもあるので、誰でも理解できる内容にしていただきたい。
------	---

6 その他（全般を通しての意見）

・予算には取捨選択が必要ではないか。拡充するという積極的な部分がある一方、減らすということに対しての中身が足りないような気がしたので、取捨選択についても努力していただいて、未来の子供たちに一番いいような自分のお金の使い方をしていただきたい。